

## メンタル・スペース理論と過去・完了形式：日本語 と韓国語の対照

曹, 美庚

広島修道大学人間環境学部：助教授：日韓対照言語学、異文化コミュニケーション論

<https://hdl.handle.net/2324/6055>

---

出版情報：2003-06-30. 広島修道大学総合研究所  
バージョン：  
権利関係：

広島修道大学研究叢書 第129号

メンタル・スペース理論と  
過去・完了形式  
——日本語と韓国語の対照——

曹 美 庚 著

広島修道大学総合研究所

# 目 次

第1章 序 章	1
第2章 メンタル・スペース理論と過去・完了形式「タ」	6
第1節 「タ」研究の歴史	6
1.1 テンス説について	6
1.2 アスペクト説について	7
1.3 ムード説について	8
1.4 多義的に規定するもの	9
第2節 メンタル・スペース理論と「タ」	10
2.1 メンタル・スペース理論の概観	10
第3節 メンタル・スペースでの過去・完了の位置づけ	13
第4節 ムード「タ」のスペース構築	18
第5節 メンタル・スペース理論と 関連したムード「タ」の解釈	24
第6節 メンタル・スペース導入の成果	26
第3章 未実現事態に用いられる完了形式	29
第1節 はじめに	29
第2節 アンケート調査(曹 [1995])からの知見	29
第3節 未実現事態に用いられる「タ」と「았」	31
第4節 メンタル・スペースと心的パーフェクト	34
4.1 話者の事態認識	34
4.2 はだかの「タ」「았」形式	40
4.3 明示的形式「～も同然だ」と「～거나 마찬가지다」	43

目 次

第5節	未実現事態に用いられる「タ」「ㄷ」の 許容範囲の考察	45
5.1	事態の進行過程が明白に見えるもの	46
5.2	話者の意思決定を表すもの	47
5.3	ネガティブな限界達成	48
5.4	手持ち根拠の量と質	49
5.5	動詞のもつ意味性質	50
第6節	未実現事態に用いられる「ル」と「タ」の対立 「これは勝つ」と「これは勝った」について	52
第7節	日・韓語における語用論的相違	56
7.1	「心的パーフェクト」に対する許容度の相違	56
7.2	テンス・アスペクトにおける語用論的相違との関連	64
第8節	むすび	70
第4章	「ルほうがいい」と「タほうがいい」	72
第1節	はじめに	72
第2節	先行研究	72
第3節	「ほうがいい」の分析	74
3.1	「ほう」の辞典的意味	74
3.2	「ほうがいい」形式の前のルとタの対立	75
第4節	未実現事態に使われる「ルほうがいい」と 「タほうがいい」	78
4.1	分離型「[ルほうが] [いい]」	78
4.2	一体型「[タほうがいい]」	82
第5節	メンタル・スペースと「ほうがいい」	88
5.1	「ほうがいい」の認識モデル	88
5.2	「ルほうがいい」と「タほうがいい」のスペース構築	89

## 目 次

第6節 「ルほうがいい」と「タほうがいい」の実例分析	91
第7節 韓国語との対照	93
7.1 事態選択の前と後	93
7.2 述部の交替	94
7.3 「*～する方がよくない」	96
7.4 非現実事態と関連して	97
第8節 むすび	98
第5章 条件文タラの用法について	100
第1節 はじめに	100
第2節 先行研究	100
第3節 メンタル・スペース理論に基づく条件文の分析	102
3.1 条件文における現実スペースと仮想スペース	102
3.2 タラ条件文のスペース的分析	104
第4節 タラ条件文に対応する韓国語の条件形式の考察	105
4.1 仮定条件の場合	105
4.2 事実条件の場合	113
第5節 むすび	117
第6章 終 章	119
参考文献	122
<付録> 「ルほうがいい」と「タほうがいい」の実例	128

## 図・表目次

図 2 - 1	現実世界とメンタル・スペース	11
図 2 - 2	現実の時間の流れとレベル C のスペース	14
図 2 - 3	すでに終わっている事態 (昨日, 映画を見た)	15
図 2 - 4	明日伺ったらばお目に掛かれませうか	15
図 2 - 5	もうあの本は読んだ	16
図 2 - 6	この椅子は先刻からここにあった	17
図 2 - 7	君は確かブラックで飲むでしたね	18
図 2 - 8	正解は, 3 番でした	19
図 2 - 9	あ, あった	19
図 2 - 10	これは, 勝った	21
図 2 - 11	これは, 勝つ	22
図 2 - 12	寝るほうがいい	23
図 2 - 13	寝たほうがいい	24
表 3 - 1	心的完了に用いられた「タ」「ㇿ」の許容度の比較	31
図 3 - 2	情報の流入と事態認識構造	35
図 3 - 3	話者の事態認識とシナリオ空間	38
図 3 - 4	心的パーフェクトの発想	41
図 3 - 5	「タ」「ㇿ」形式における心的空間と心的パーフェクト	42
図 3 - 6	明示的形式による想定空間の同一化	45
図 3 - 7	もう, 決まったな	47
図 3 - 8	「このまま」のスペースと「ル」	53
図 3 - 9	「このまま」のスペースと「タ」	54
図 3 - 10	「これなら」のスペースと「ル」	54
図 3 - 11	「これなら」のスペースと「タ」	54
図 3 - 12	これは, 勝つ	56

図・表目次

図 3 - 13	これは, 勝った	56
図 3 - 14	物理性を要求する具体性の高い動詞の場合	63
図 3 - 15	明示的形式「～も同然だ」により 具体性制約を克服する場合	64
図 3 - 16	ボタンが落ちた	66
図 3 - 17	단추 떨어졌다 (ボタン 落ちた)	66
図 3 - 18	レベル C における変化プロセスの把握 (日本語の場合)	67
図 3 - 19	変化プロセスのクローズ・アップ (日本語の場合)	67
図 3 - 20	レベル C における変化プロセスの把握 (韓国語の場合)	68
図 3 - 21	変化プロセスのクローズ・アップ (韓国語の場合)	68
図 4 - 1	「ほうがいい」の認識モデル	89
図 4 - 2	寝るほうがいい	90
図 4 - 3	寝たほうがいい	91
図 5 - 1	タラ条件文に対応する韓国語の 条件節内の完了形式の表出	113